

群馬県内企業にみる新卒者採用の状況と対応

付帯調査：インターンシップへの取り組みの状況

群馬経済研究所主任研究員 丸岡美智世

要約

1. 群馬経済研究所では県内企業を対象に新卒者採用に関するアンケート調査を実施した。
2. 県内企業における人員状況は、「不足」が「充足」を大きく上回った。不足企業の要因には、「中途採用(正社員)が困難」、「新卒者採用(正社員)が困難」が60%台で続き、このほか30%台で「パート・派遣人材の確保が困難」、「中途退職者の増加」が挙げられている。
3. 17年3月卒業者(以下、17年春新卒)の採用について、「計画していた」は約60%近くを占めた。採用計画企業のうち、採用環境が「厳しかった」はおよそ3分の2を占めた。採用の有無では、「採用した」が74.2%を占め、企業規模が大きい程、同割合が高い。採用しなかった企業の理由では、「応募がなかった」が最も多くなっている。
4. 18年3月卒業予定者の採用環境では「厳しくなっている」が大多数を占め、採用環境DI(「採りやすくなっている」-「厳しくなっている」企業割合)はマイナス77.3と、前年(マイナス61.0)を下回った。
5. 17年春新卒を採用した企業が採用活動で利用した情報発信手段では、「ハローワーク」や「企業のホームページ」、「企業見学会」が上位となり、効果があった手段には「企業見学会」がトップに挙げられた。なお、当研究所月報「ぐんま経済」17年8月号に掲載した「新入社員に聞く就職活動に関する意識調査」でも新卒者が就職活動に利用した手段では、「企業のホームページ」、「企業見学会」が上位に挙げられている。
6. 群馬県内で新卒者採用を増やすために、企業がなすべきことを尋ねたところ、①自社のビジョンの明確化や待遇の向上など魅力ある職場づくり、②そうした情報を学生に向けSNS等を活用して発信すること等が挙げられた。また、行政や教育機関への要望には、①県内外で実施する合同企業説明会等の回数の増加、②小・中学生や高校生等の時から群馬県の魅力を伝え企業に接する機会をつくること、等が挙げられた。
7. 群馬県内で新卒者の採用を増やすために、企業には、自社の企業風土、ビジョンといった情報を発信するとともに、学生が実際の仕事や技術に接する機会を設けること等が一層求められよう。また、行政には、企業が各種団体の行う県内の採用関連の情報を得られるようにWebサイトを充実することや、子ども達の本県産業や企業への関心を高めるように、企業や教育機関等と連携した対応を行うことが一層期待される。

キーワード：新卒者採用 人手不足 企業見学会 インターンシップ